令和8年度
道明寺こども園運動会
2026. 10. 17

気持ちの良い秋晴れの空の下、今年もたくさんのお家の方に見守られながら、運動会を行うことができました。
２歳児から５歳児までの４学年、８クラスでの運動会でしたが、それぞれの学年で楽しんできたこと、がんばってきたことに一生懸命取り組む姿や声をかけたり手をたたいたりして応援する姿に、子ども一人一人の成長を感じました。
そんな、子どもたちの様子をお伝えします！

今年も保護者の方に手伝っていただいた
入場門がお出迎え





０，１歳児は、応援旗で
大きい組さんたちを応援です

**オープニングは、
5歳児による
和太鼓『豊年太鼓』**



『響』の和太鼓演奏や夏祭りでの先生たちの和太鼓を見てから太鼓に興味をもち、友達と一緒にいろいろな太鼓のたたき方を楽しんできた５歳児。その中で『豊年太鼓』という和太鼓の演目に挑戦しました。５歳児３７人の気持ちを合わせた演奏、とってもかっこよかったですね。
みんなでやり遂げたことで、仲間意識がさらに深まることでしょう。

開会式



**プログラムNo.1
2～5歳児　準備体操
めっちゃげんき体操**



**プログラムNo.2
2～5歳児「かけっこ」**







５歳児が前でちびっこ先生になり、２，３，４，５歳児が元気いっぱい体を動かして体操をしました。
こども園のリーダーとして、５歳児は小さいクラスのプログラムのお手伝いもしてくれました。ある時は敵役に、ある時は物を出すお手伝いに、ある時はゴールテープをもつ役に…。
みんなのために自分のできることを頑張ってやり遂げたことも大きな自信となり、自己肯定感や、自己有用感が育ちます。

「よーいどん！」
ゴールをめざして一緒懸命走る４，５歳児。走ることが楽しい３歳児や、先生が待ってくれているところに走っていくのがうれしい２歳児。それぞれの姿がありましたが、ゴールした後のみんなの笑顔が素敵でした。

**プログラムNo.3
2歳児　リズム表現・体育遊び
『24ひきのかえる』**





**プログラムNo.4
3歳児　リズム表現・体育遊び
『忍者つばめ丸　いざ出陣！！』**







おたまじゃくしやカエルをお部屋で飼育して触れ合ってきた子どもたち。カエルになっての表現遊びも楽しんできました。両足でぴょんぴょん跳ぶこともできるようになってきましたよ。

春からいろいろな場所で、忍者になって遊んできた３歳児。保育室や遊戯室はもちろん、園庭や散歩先、プールの中でも忍者の修行をしてきました。
その成果を、おうちの人に見てもらいましたよ。

プログラムNo.5
4歳児 リズム表現・体育遊び
『まじょのほうき』

　９月のある日、廊下にほうきが浮いていたことや、絵本からどんどん魔女への興味がわき、魔女の生活や魔女の食べ物などいろいろなことを調べ、表現遊びに取り入れてきました。
　今日は、絵本に登場するひろみちゃんになって魔女のくにへ…。坂上りや鉄棒、大縄跳びなど、今まだ照り組んできた体育遊具遊びにも挑戦しました。







プログラムNo.6
5歳児 体育遊び
「自分らしくベストをつくそう」

　今まで頑張って取り組んできた跳び箱・竹登り・鉄棒の逆上がり・個人縄跳びの中から、自分が一番見てほしいもの２つを選び、披露しました。
　縄を自分で回して跳ぶということが難しかった個人縄跳び。跳べるようになった喜びと失敗してからの恐怖にくじけそうになった跳び箱。手に豆ができるくらいがんばった逆上がり。腕や足の力も必要ですが、高さへの恐怖にも打ち勝たなければならない竹登り。子どもたち一人一人がいろいろな葛藤や喜びを味わいながら、目標に向かって何とかできるようになりたいと頑張ってきました。周りの友達の応援にも励まされましたよ。
　できた・できなかっただけではなく、これまでの努力が大切ですよね。目標に向かって自分で努力してきたことは、小学校以降の学びに向かう姿勢に繋がります。



プログラムNo.7
2･3･4 歳児 団体演技
「おばけの花火音頭」

　２，３，４歳児のダンスです。
　白いポンポンを手につけ、おばけになりきって「おばけの花火音頭」を可愛く踊ります。
　「ドンドンパンパン～」の後のくるんと回ったりひゅ～ンとジャンプしたりが楽しい子どもたちです。
　子どもたちの笑顔に、ほっこり癒されました。







プログラムNo.9
5歳児 団体競技
「リレー ～思いをつないで～」



　「走ることが楽しい」「友達にバトンを渡すのが面白い」とリレーを楽しんでいた５歳児でしたが、勝ちたいという思いをもち、勝つためには・・・と、クラスで話し合いが繰り返されました。
　いろいろな速さの友達がいることも認め、自分ができることは何かを考え、勝った喜び、負けたくやしさを何度も経験してきた子どもたち。
　一人はみんなのため、みんなは一人のため、最後まであきらめずに走っていた姿がとても素敵でした。



閉会式



　自分たちの演技や競技だけでなく、他のクラスの演技や競技にも心を寄せ、最後まで応援していた子どもたち。みんなよく頑張りました。
　たくさんのお客さんに、ドキドキしいながらもその緊張を楽しみながら頑張った子、あまりの緊張で普段の姿が見せられなかった子、今まで頑張ってきたことを自信に代えて堂々と力を発揮した子、それぞれの子どもの姿がありましたが、今できる精一杯の姿を見せてくれたと思います。
　ご家庭に帰られましたら、今日の楽しかったこと、自分の頑張ったことなど子どもの思いをしっかりと聞いて、たくさんほめてあげてください。それが子どもたちにとっての一番のご褒美です。
　おうちの方に褒めてもらった経験は大きな自信となり、また明日からの子どもたちの力になります。





　今日一日、緊張もしたけれど今までがんばってきたことをたくさんの方に見てもらってうれしかったね。最後まで頑張ったみんなの顔は、とってもキラキラしていましたよ。